



しろっこだより

赤穂市立城西小学校

〒678-0244

赤穂市城西町41番地

TEL 0791-42-0698

文責：北里 浩士



保護者の皆様は、破損や紛失によって、スマートフォン（携帯電話）が使えなくなったことがありますか？

20年ほど前までは、家庭にある固定電話か公衆電話を使って、連絡をしていました。現在では、スマートフォン（携帯電話）を使って連絡することが多くなっています。（家庭の固定電話や公衆電話の台数も大幅に減少しているようです。）スマートフォンは、電話だけではなく、メール、LINE、ネット、支払い（ポイント管理）機能、ゲーム等、多くの役割を果たしています。今では、スマートフォンは、欠かすことのできない重要な生活ツールになっています。

もし、（壊れてしまったり、紛失してしまったりして）手元にスマホがなくなってしまうと大きな不安に襲われるような気がします。（スマホが使えなくなる不安は、何からくるのでしょうか…？）スマホが使えなくなれば、きっと、ショップに出かけて、すぐに新しいものを購入するのもかもしれません…。

さて、第10号(夏休み前 B号)は…、

夏休み前B号は、「情報モラル」のお話です （スマホやパソコン使用の注意点）

保護者の皆様も子どもたちも、「情報社会」の中を生きています。当たり前のように、様々な情報を活用しながら生きています。具体的な場面としては…、

- 携帯（電話）を使って情報交換
- メールやLINE（ライン）で情報交換
- 様々な「ネットショッピング」からの情報を受け取る
- 電子マネーによる決済
- 「YouTube（ユーチューブ）」の視聴および投稿
- ネットゲームの利用



【でも…、こんなトラブルが考えられます。】

A 携帯電話について

- ①長時間の電話利用（（プランによっては）通話料金が高くなる。）
- ②早朝や深夜の利用（相手に迷惑がかかってしまう。）

B メールやLINE（ライン）について

- ①文字だけのやりとりでは、誤解が生まれ、トラブルにつながる場合がある。
（そういうつもりではないのに、誤解が生まれる。）
- ②（遅い時間にきたLINEであっても…）返信を求められることがある。
- ③人の悪口を書き込む。→ 度を超えて「いじめ」に発展することがあります。



C YouTube（ユーチューブ）について

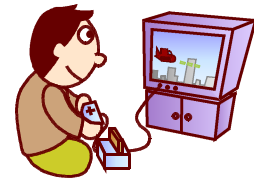
- ①投稿することによって、自分の存在が知られ、犯罪に巻き込まれる。
- ②再生数をかせぐために、人の迷惑を考えない。
（迷惑系ユーチューバー）
- ③許可を得ないまま友だちの顔が写った動画を投稿してしまい、友だちの顔が世間に広まり、別の犯罪に巻き込まれる。
- ④「YouTube」を閲覧する時間が長すぎる。



（裏面に続きます）

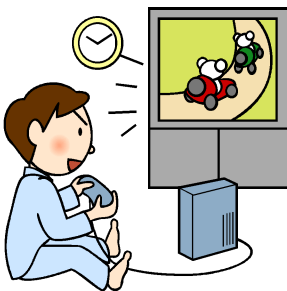
D ネットゲームについて

- ①自分の生活リズムをこわしてしまうほどゲームにはまり込み、「ゲーム依存症候群」になる。
- ②課金が必要なゲームにのめり込み、家族のお金を無断で使い込んだりする。



小学生にスマホを持たせる理由としてよくあげられるのが、居場所の確認や把握です。遠距離の学校に通学したり、公共の交通機関を使って学校や塾、習い事に通ったりする場合、子供のいる位置がわかることは、保護者にとっては大きな安心材料になります。帰宅が遅いときなども、むやみに心配せずに待つことができ、お迎えや緊急時の連絡も簡単にできます。

**スマホやパソコンは生活に欠かせない便利な道具ですが、
使い方によっては、「依存症」(やめられない)になったり、
友だちとのトラブルを引き起こすことになったりします。**



この夏休み、スマホやパソコンの利用でトラブルが起こらないように気を付けていただきたいことがあります。

(1) 使える時間を決めておく。(のめり込まないように…)

「通話」「メール・LINE」「YouTube」「ゲーム」、どれも楽しいものです。「YouTube」は見ているだけで、あっという間に時間が過ぎていきます。「利用は、1日に1時間まで」とか「夜は、〇時以降は使わない」等、利用に関する約束が必要です。

子どもと、このような約束を交わしておく必要があります。



(2) 相手の生活を考えさせる

メール・LINEは、直接会わなくても文字での交流を図ることができます。子どもにとっても、とても魅力的なものでもあります。けれども、メール・LINEの怖さは、「返信を期待(要求)する」ところです。「せっかく送ったのに返信がない!」と不機嫌になる人もいます。通話はもちろん、文字のやりとりであっても、早朝や深夜に送るべきではないし、返信を要求してはいけません。「今、電話してもいいのかな?」「今、LINEを送ってもいいのかな?」…と、相手のことを考えてほしいです。



(3) メールやLINE等で人の悪口を書き込まない

よく耳にすることです。Aさんの悪口を書き込むことによって、BさんとCさんの関係を強化(仲良く)しようとする場合があります。どんな場合であっても、メール・LINE等を利用した悪口の書き込みをしてはいけません。

※(ウィキペディア(Wikipedia)より引用)

誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)→根拠のない悪口を言いふらして、他人を傷つける行為。

ネット上での誹謗中傷は、罰せられることがあります。

(4) 画像や動画をむやみにアップしない

画像や動画を「YouTube」「TikTok」「インスタグラム」等にアップすると、その顔が、日本中だけではなく、世界中に知れ渡ることになります。顔が知れ渡ると、個人が特定され、犯罪に巻き込まれる可能性が出てきます。友だち・家族・知り合いの方等の画像や動画は、許可なしにアップしてはいけません。友だちが「私の画像をアップしてもいいよ」と言っても、その家族の方に迷惑がかかる場合があります。お家の方の話をよく聞いて行動するようにしましょう。



【ネット上の名言】

「自分は正しいことをしている。」 そう思ってしまう事が、
間違ったことをする最大の原因である。